

# へるん入試出願書類の 様式変更について (令和6年5月31日現在)

※正式には、令和6年7月末公表予定のへるん入試募集要項で必ずご確認ください。

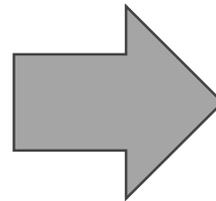
# へるん入試が求める学生像

- ①大学の学びに必要な基礎的学力を有する人
- ②特定の学問・教科に関心を持ち、それに継続的に向き合ったことのある人
- ③知的好奇心を持ち、それを主体的・積極的な探究により深めた経験のある人
- ④他者と協働して何かをなし、それを自らの学びに役立てたことのある人

※各学部ごとのアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）については募集要項をご覧ください。

# へるん入試における選抜方法

選抜方法	配点
調査書、 調査書別紙、 クローズアップシート	80点
読解・表現力試験	100点
志望理由書を用いた「面接」	100点



選抜方法	配点
調査書、 <b>活動報告書</b> 、 クローズアップシート	80点
読解・表現力試験	100点
志望理由書を用いた「面接」	100点

# 変更の背景と改訂の趣旨

- へるん入試では、調査書、調査書別紙、クローズアップシート、読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」で総合的に評価しているが、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）にある「他者との協働性」について、より明確に評価するため。
- 調査書別紙にある役職記入欄廃止の理由は、生徒会や部活のキャプテン以外の活動も幅広く評価するため。



活動報告書に「他者と協働して何かをなし、それを自らの学びに役立てた」経験を「自らの役割」を明示して書く欄を設けることで、志願者にとっても「何が評価されるのか」を分かりやすくした。

# 活動報告書とは？

Q：何を評価するの？

⇒ A：他者との協働性を評価します。

Q：どうやって評価するの？

⇒ A：他者と協働することの意義と意義を実感することになった活動を具体的に記述し、その内容を評価します。

★活動としては、これまでに経験したどのような協働を取り上げてても構いません。学校での活動だけでなく、学校外の活動を書いていただけでも構いません。ご自身の果たした役割を明示しつつ、具体的に記述してください。

# 記述に関してのポイント

- 「他者と協働して何かをなし、それを自らの学びに役立てた」経験を「自らの役割」を明示して書いてください。
- 「他者との協働」は部活や生徒会活動など、学校内の活動だけでなく、地域のボランティアなど、学校外の活動でも良いです。
- 「自らの役割」は生徒会長や部活のキャプテンだけでなく、どのような立場でも良い。ただし、その役割を果たしたことで、仲間と協働して何かを成し遂げられたことが重要です。